



平成20年11月20日

各 位

会 社 名 国際放映株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新江 幸生
 (JASDAQ・コード9604)
 問合せ先責任者 取締役経理・関連会社担当
 津屋 明彦
 電 話 03-3749-7213

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年9月12日に於いて平成21年1月期 中間決算短信で公表した平成21年1月期（平成20年2月1日～平成21年1月31日）の通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年1月期 通期(連結)業績予想数値(平成20年2月1日～平成21年1月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,576	180	151	56
今回修正予想 (B)	3,489	119	90	6
増減額 (B-A)	△86	△61	△60	△50
増減率 (%)	△2.4	△33.8	△40.3	△89.3
(ご参考) 前期実績 (平成20年1月期)	2,871	197	170	63

(2) 平成21年1月期 通期(個別)業績予想数値(平成20年2月1日～平成21年1月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,269	156	129	52
今回修正予想 (B)	3,130	88	60	2
増減額 (B-A)	△138	△68	△68	△49
増減率 (%)	△4.2	△43.8	△53.2	△95.1
(ご参考) 前期実績 (平成20年1月期)	2,621	198	174	52

2. 業績予想の修正の理由は下記のとおりです。

売上高につきましては、個別において、1月に計上予定のテレビドラマ作品が翌期にずれこんだこと、またレンタルスタジオ事業の売上が所期の目標を下回ることにより減収となりました。なお、連結においては、子会社の美術製作収入が所期の目標を上回る見込みにより、個別と比較して減収額が少なくなっております。

また、利益面では、上記の売上の減少に伴う減益のほか、当社が第4四半期に納品するテレビドラマの一部の作品において、海外ロケ等に起因する制作原価の増加があり、個別・連結ともに、営業利益及び経常利益が減少いたしました。

当期純利益につきましては、個別・連結ともに取引先の破産申立に伴う貸倒引当金を計上したことによる特別損失の増加があり、個別・連結ともに減益となりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上